

A. 事業報告「1. 会員拡充」について

【A.1】 会員増強未達の責任

「会員増強のための専務理事人事」との説明を受けている〔JE8KQRへの専務理事回答@H27当会〕。

であれば、目標が未達である以上は、退任と理解していいか？

時 点	正員	社団会員	家族会員	准員	合計
H27(2015)年3月7日	56,493	1,535	1,682	6,708	66,418
H29(2017)年3月7日	56,265	1,524	1,581	6,629	65,999
増 減	▲228	▲11	▲101	▲79	▲419

【A.2】 ドローン愛好者の取り込み策

「ドローンについてはアマチュア無線の新しい楽しみ方として歓迎」という回答を得た〔専務理事@H28当会〕。

しかし、5.6GHz「だけ」の免許を受けている904局の中で、連盟の会員は、以下のわずか4局である。

さらに実質は、③④の2局だけとなる。

「5.6GHzだけの免許」904局の中での連盟会員：

- ①JARLビーコン (JA3IGY)
- ②別途“固定局”をお持ちの方 JH4USE
- ③QSL転送不可 のライフメンバー JF3KOB
- ④JJ0MRU

〔『無線局等情報検索』の2017-05-13付データ、および、jarl.comによる〕

かかる惨状下、「どのような方策」によって、ドローンの愛好者を、連盟会員、すなわち端的には「QSLカードの交換が必要なほどのアマチュア無線」の世界に、招き入れようとしているのか？

(例：

- ・会費の安い「FPV会員」 (FPV: First Person View)
- ・関係情報・技術情報の提供
- ・JARL主催ドローンレースの開催)

所詮、かなわぬ片想いの“歓迎”——ではないのか？

B. 事業報告「2.(1)⑧ 特別局・特別記念局」について

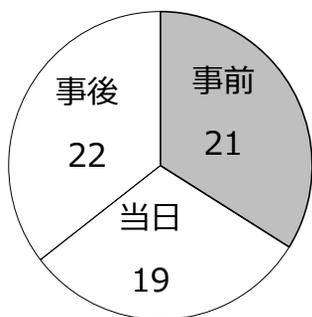
【B.1】記念局の管理の限界

事務局による管理が追いついておらず，以下のような実害が出ている。
 このような実態から，もはや年間64局をも取り回すことは無理とみられ，制度面からして抜本改革をすべきではないか？

● JARL Webの告知

a. 追いついていない

「事前」になされていたのは，1/3のみである。



- ・「行事数」(62)にて，「局数」(64)とは，以下により異なる：
 ①8J3A・8J3XXI
 ②8J7I・8N7I

- ・終業時刻の「18:00」で判定

JARL Webでの記念局の告知時期 (H28年度)

b. コールサインの誤り

アマチュア無線の世界で——ましてその中核たる団体において——あるまじき事態が起こっている。(昨年度の社員総会以降で3件。)

平成28年9月1日～平成28年10月31日	8J8CLE	受信環境クリーン月間	北海道札幌市	JA8LNR	JA8LNR
平成29年4月15日～平成29年6月30日	8N2G	岐阜コンテスト20周年	岐阜県岐阜市	JE2SOY	JE2SOY
平成29年4月1日～平成29年7月23日	8J2HAM	第49回東海八人の祭典	愛知県名古屋市	JN2OFP	JN2OFP

JARL Webでのコールサインの誤り

● ほかの問題点

➤ JARL記念局としての相応しさ

「はたして連盟が特別行事として奉る必要のある行事なのか？」が疑問な開設事例が散見される。

➤ 業務の仕分け

事務局の「雑多な記念局」の管理のための工数(稼働)は，もっと別な“本質的な業務”に回すべき(例：定款・規則などの見直し作業)。
 実際，「レピータの事務処理が遅延していた」とも聴いている。

➤ 開設申請の「締切踏み倒し」の常套化

H27年度の当会で指摘のとおり。

「自らが定めた『基準』に，自らが従っていない」ことは，とくに公益団体としての組織運営上，問題ではないか？

C. 事業報告「3.(1)① 電波環境のクリーン化」について

【C.1】総務省の意見募集に非対応

144・430MHz帯の利用を含む『2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会で割当を行う周波数（案）についての意見募集』に対し、連盟から意見が出されていない。

〔参照先〕

『2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会で割当を行う周波数（案）についての意見募集の結果』

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01kiban09_02000220.html

● 容認？

- 連盟として、オリンピック・パラリンピック期間中の144・430MHz帯の共用を容認ということなのか？
- その場合、なにかしらの“見返り”を期待してのことか？
例：1.9・3.5・3.8MHz帯の拡大、5MHz帯の獲得

● そうはいつでも

- たとえそうであったとしても、
「アマチュアの権益を代表する団体」として、あるいは
「常々“バンド防衛”を唱えている団体」として、対応が粗末ではないか？
- 「連盟が何の意見も出さない」ということは、
「会員の士気」、ひいては
「連盟の存在意義」にすら影響が及ぶのではないか？
- あるいは、
「もはや執行側（理事会・事務局）にそのような能力は残っていない」から、
「個人として会員個々から意見を出してくれ」
ということなのか？

● そもそも

- 連盟の存在意義として、監督官庁である総務省をはじめとする「霞ヶ関に対する活動が最重要業務のひとつである」という覚悟と定義を
- 「政策渉外（ガバメント・アフェアーズ）活動を、どのように実施するか？」の明確化を
 - 報道発表を毎日チェック（総務省・文科省・経産省・観光庁あたり）
 - その担当者自身は、必ずしも専門知識を有する必要はなく、むしろ「専門家をネットワークする力」があれば可
 - 必要に応じ、「意見を出すか／否か」を関係者に相談（委員会委員長、理事、専門知識を有する会員 など）
 - 「出す」際の、「内容を詰める役割」の担当者・チームの定義（職員、有識者分科会 など）

D. 事業報告「3.(1)② 運用指導」について

【D.1】ドローンの運用法に関する疑義

アマチュア局においては、『通信の相手方』は「アマチュア局」と定められている：

通信の相手方 アマチュア局
免許状での記載

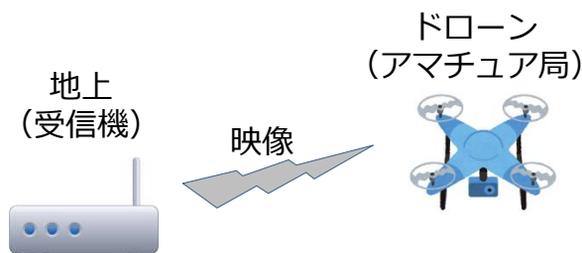
このとき、受信機はアマチュア局（無線局）ではない：

しかしながら、ドローンの一般的な運用は、「受信機に対しての、片方向の送信」となっているのではないかと？

五 「無線局」とは、無線設備及び無線設備の操作を行う者の総体をいう。但し、受信のみを目的とするものを含まない。

電波法 2条5

すでに、「ドローンについてはアマチュア無線の新しい楽しみ方として歓迎」の旨の回答を連盟から得ているところであるが〔専務理事@H28当会〕、上述の法令をどのように解釈してのものか？



ドローンの運用例

E. 事業報告「7.⑦ IARU HFチャンピオンシップコンテスト」について

【E.1】『IARU HF Championship』への参加目的

HQ局は、何を目的として参加しているのか？

- 上位入賞を目指しているのか？
 - ・ 2016年は「59団体内24位」で、例年このあたりの戦績
 - ・ 欧州勢にかなうことはまずありえない（∵コンテスト参加局数）
- 単なるプレゼンスの維持のためなのか？
 - ・ であれば、
 - HQ局公募時の「想定局数」の申告は不要ではないか？
 - “若手育成の場”として活用する方法もあるのではないかと？
（中学・高校・大学のクラブに担務いただく）
- 運用法が国内コンテスト的
 - ・ 国内QSOが大多数？
 - ・ コンテストナンバー（59(9)45）が明らかであるためか、ミスコールでもそのまま突っ走られてしまう

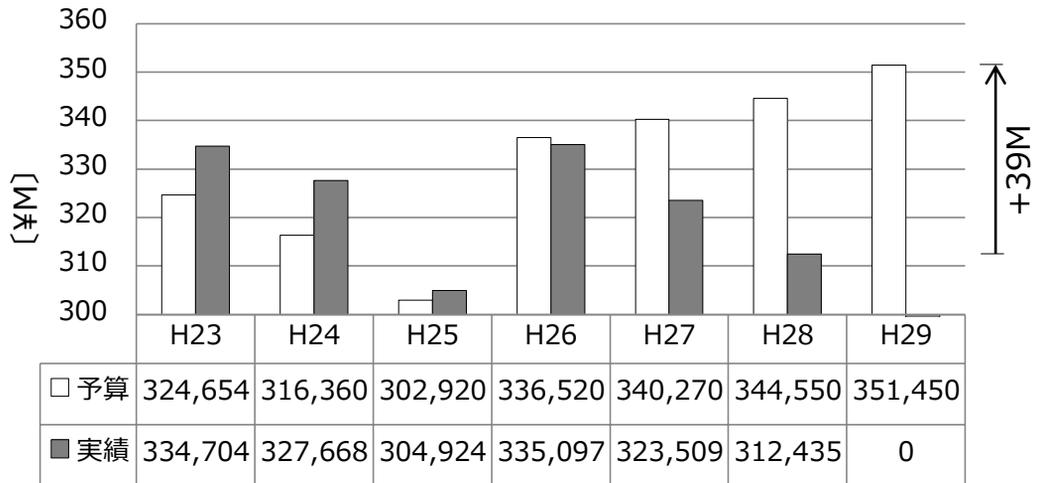
F. 収支予算について

【F.1】 入会金・会費の過大な予算計上

H29年度の予算には、従来以上の額の入会金・会費を見込んでいる。

- しかしながら、ここ数年の連盟の実力（実績）を鑑みれば、過大（高リスク）ではないか？
- 仮に会計期間中に予算未達が確実となった場合には、その埋め合わせ策として、どのような手段（いわゆる「プランB」）を講ずるのか？
（例：専務理事の報酬自主返上）

入会金＋会費の、予算と実績



【F.2】 費用削減努力の不足

H28年度予算（▲¥80M）に対しH29年度予算（▲¥55M）は、一見、「¥25Mの改善」に見える。

しかし実態としては、以下に寄るところが大きい。

すなわち、経営改善にむけての自助努力が、まだまだ足りないのではないかと？

① 過度な入会金・会費収入への期待

H28年度予算比で+¥7M （実績比では上図のとおり+¥39M）

② 環境的な要因による改善

環境的な要因による、H28年度予算→H29年度予算での改善：

¥8M 局名録（隔年刊行； 収益¥15M－費用¥7M）

¥5M 退職給付費用の支出減

¥2M 選挙費の支出減

¥7M 入会金・会費収入での改善期待（前項）

¥22M 計

¥25Mの内のじつに
¥22Mは、環境要因による他力本願な改善

G. 事業計画「1.(4) 次世代育成」について

【G.1】子供むけ科学イベントの活用

青少年のさらに下の予備軍の育成として、各地の小学校や東芝未来科学館などで開かれているいわゆる科学イベントに、連盟として協賛できないか？

(例：『科学実験工房』・『サイエンスクラブ』・『サイエンスカフェ』・『エンタテイメント！サイエンス』)

H. 事業計画「2.(2) コンテスト・アマチュア無線フェスティバルの実施」について

【H.1】『ハムフェア』と『ALL ASIAN DXコンテスト電話部門』との競合

本H29年度は、『ハムフェア』と、『ALL ASIAN DXコンテスト電話部門』とが、日程上重なる。

- なぜか？
 - 「JARL主催行事が相互に重なるようになったこと」への説明を、見ていない
 - 速やかな説明があっただけではなかったか？
- ハムフェアの入場料収入に悪影響が現れるのではないか？
- [意見]
来年度以降は、日程が重なることがないように、配慮していただきたい

I. 事業計画「2.(3)および4.(3)② JARL Webの充実」について [意見]

【I.1】 Webの充実

「表現の明確化」や「コンテンツの拡充」を.

- 『無線局免許状』携帯の要/否の明確化
「始める→スタートハムライフ→免許状が届いたら」
(http://www.jarl.org/Japanese/6_Hajimeyo/start_ham.html) での記述は以下のとおり：

無線局免許状は、...車にトランシーン場を設置する場合やハンディ機を持ち歩く場合などは、できるだけ一緒にお持ちください。

- 「できるだけ一緒」といったあいまいな表現は避けるべき.
- そもそも、移動の際に必要なのは「従免」「免許証票」のみ.
- “JARLローカルルール”による混乱の発生は避けるべき.
- 関東総通による説明は以下
(http://www.soumu.go.jp/soutsu/kanto/ques/faq/faq/riyou.html#a1_15) .

移動する無線局の免許状については、無線局の常置場所（自宅等）に備え付けることとなっております。

- 「海外での運用」ページの拡充
 - 相互運用協定の締結状況の整理を
 - 日本の一アマ～四アマが、往訪先のどの資格に対応するのか、どこにもまとまっていない
 - おそらく『Personal Communication』誌1991年6月号でのまとめが最後
 - 記載が皆無の対象国の存在
 - フィンランド、アイルランド、ペルー、インドネシア、CEPT
 - 対象国での、「クラブ局」や「ゲストオペ」での、運用の可否や条件
 - リンク切れ
 - 免許取得経験者からの情報（体験談）の収集も有効
 - 「相互運用協定締結国」および「日本の免許で対応してくれるそれ以外の国」
 - ただし公開にあたっては要検討：
以下に依存し、あえて伏せておいたほうがいい場合も
 - ✓ 個々の申請の状況
 - ✓ 受入国の担当者の裁量
 - 休眠アマチュア局の掘り起こし・活性化につながる可能性

(「Webの充実」 続)

- 「社員総会」の案内
 - ・開催についての言及なし、したがって以下 案内なし
 - 質問・意見などの陳情方法や締切
 - 傍聴案内（JARL NEWSの誌面にコラムで出ただけ）
 - ・もっと会員に対し、積極的に意見を寄せるように働きかけるべきではないか？（“会員ファースト”）
 - ・こっそりと社員総会を済ませたいのか？
-

J. 事業計画「2.(14)および7.(4) 海外アマチュア無線家の国内運用」について

【J.1】 CEPT『T/R 61-01』の締結実現

『T/R 61-02』は実現をみたが、より実用性の高い『T/R 61-01』*の締結を、あくまで以下のとおり目指すべきではないか？

- ・ オリンピックの際の特別処置としては最低限
- ・ 願わくば恒久的に

*：短期訪問者の「手続きなし」での相互運用

【J.2】 相互運用協定での諸規制の緩和

既存の協定においても、見直すべき事項があるのではないか？

- バンド幅のみなし（拡大）
アウトバンド方向の規定。
日本からの渡米者は、144～146・430～440MHzしか出られず、現地での制約大。
米国での割り当て幅は144～148・420～450MHz。
広げられれば、実用性が高まる。
（例：呼出周波数が146.52MHz、
レピータの入力周波数帯の7割が146・147MHz台。）
- 『アマチュア局の無線設備の操作のための登録証明書』の廃止
インバンド方向の規定。
「日本で個人局を開設していない外国人」が、「社団局の構成員」となる際に、事前に用意する必要。
割愛できれば、訪日客にとっての運用の自由度が高まる。

K. 事業計画「3.(3) 周波数の利活用」について

【K.1】ドローンのためのバンドプランの改正

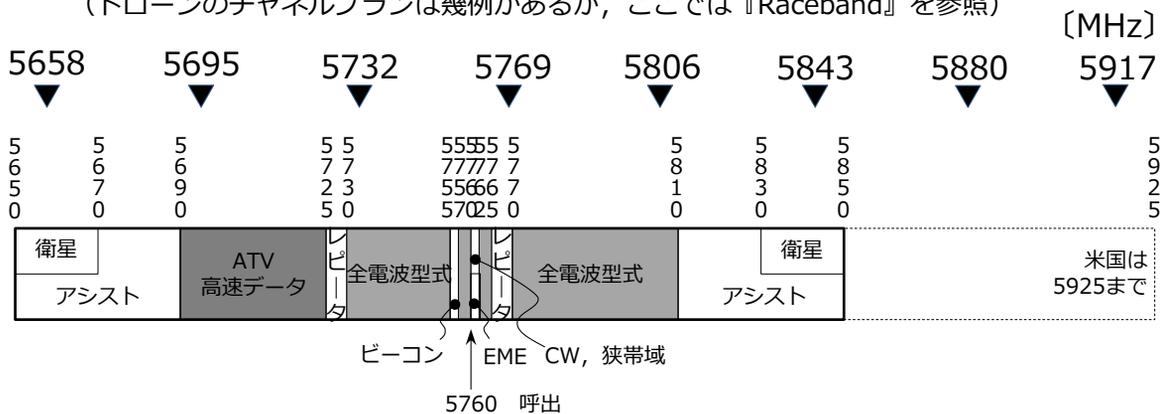
「ドローンについてはアマチュア無線の新しい楽しみ方として歓迎」という回答を得ている〔専務理事@H28当会〕。

“歓迎”というのであれば、実質はほぼ使われていない5.6GHz帯のバンドプランを太っ腹に見直し、ATVへの割り当て幅を広げれば、ドローンの使える周波数（チャンネル）を増やせる。

そのような見直しを総務省に働きかけ、行う必要はないのか？

あるいは反対に、ドローン以外の通信（従来のアマチュア無線）の保護のために、そのような動きは阻止するのか？

（ドローンのチャンネルプランは幾例かあるが、ここでは『Raceband』を参照）



「衛星」の現状

- 稼働中なし

運用組織	衛星名	周波数	状況
University of Hawai'i	Mea Huaka'i	5840MHz	打上失敗
福岡工大	FITSAT-1	5840MHz	運用終了
UNISEC	UNITEC-1	5840MHz	運用終了
Estonia・Sweden・Latvia・Slovenia合同	ESTELLE	5.8GHz	時期不明

- すでに「アシスト局」との共用割り当て下

「アシスト局」の現状

- 名古屋市内の1リンクを除き、未使用
 - ・ JP2YGF 名古屋工学院 ～
 - ・ JP2YGJ 名古屋大
 - 5816.25MHz
- すでに「衛星」との共用割り当て下

「レピータ局」の現状

- 以下の4府県を除き、未使用
 - ・ 神奈川 JP1YHK
 - ・ 愛知 JP2YFH, JP2YFZ, JP2YHV
 - ・ 京都 JR3VW, JP3YGR
 - ・ 長崎 JP6YDA
- 5765.08～.94MHz の範囲内（下り）

Racebandの配置に対する、現行のバンドプランとその実利用状況

L. 事業計画「4.(3)① インターネットの利用」について

【L.1】社員総会のインターネット中継

昨年も要望したが、「かけられる手間がない」という回答だった。

であれば、中継要員としてボランティアを募り任せる手があるのではないか？

実際、H22年の寝屋川市での臨時総会では実現できたではないか？

「インターネット中継」は、会長の目指す“会員ファースト”の一環として、まさに相応しいのではないか？

M. 事業計画「6.(1)①青少年（学校クラブ）支援」について

【M.1】『学校クラブ』における代表者・連絡者の条件緩和

『登録クラブ』のうち、『学校クラブ』については、『代表者』・『連絡者』として、連盟会員以外を許容すべきではないか？

● 実態としてのハードルの高さ

- ・「クラブ代表者及び連絡者は、正員でなくてはならない。」と定められている〔クラブ規定9条1項〕
- ・しかし、いまどきの高校・大学のクラブでは、該規定に則した引き継ぎは困難
- ・顧問（または学校長）に委ねるのが相応しいが
 - 連盟会員であることはほとんどない
 - そもそも無資格なのが通常

代表者・連絡者たる者の適正の比較

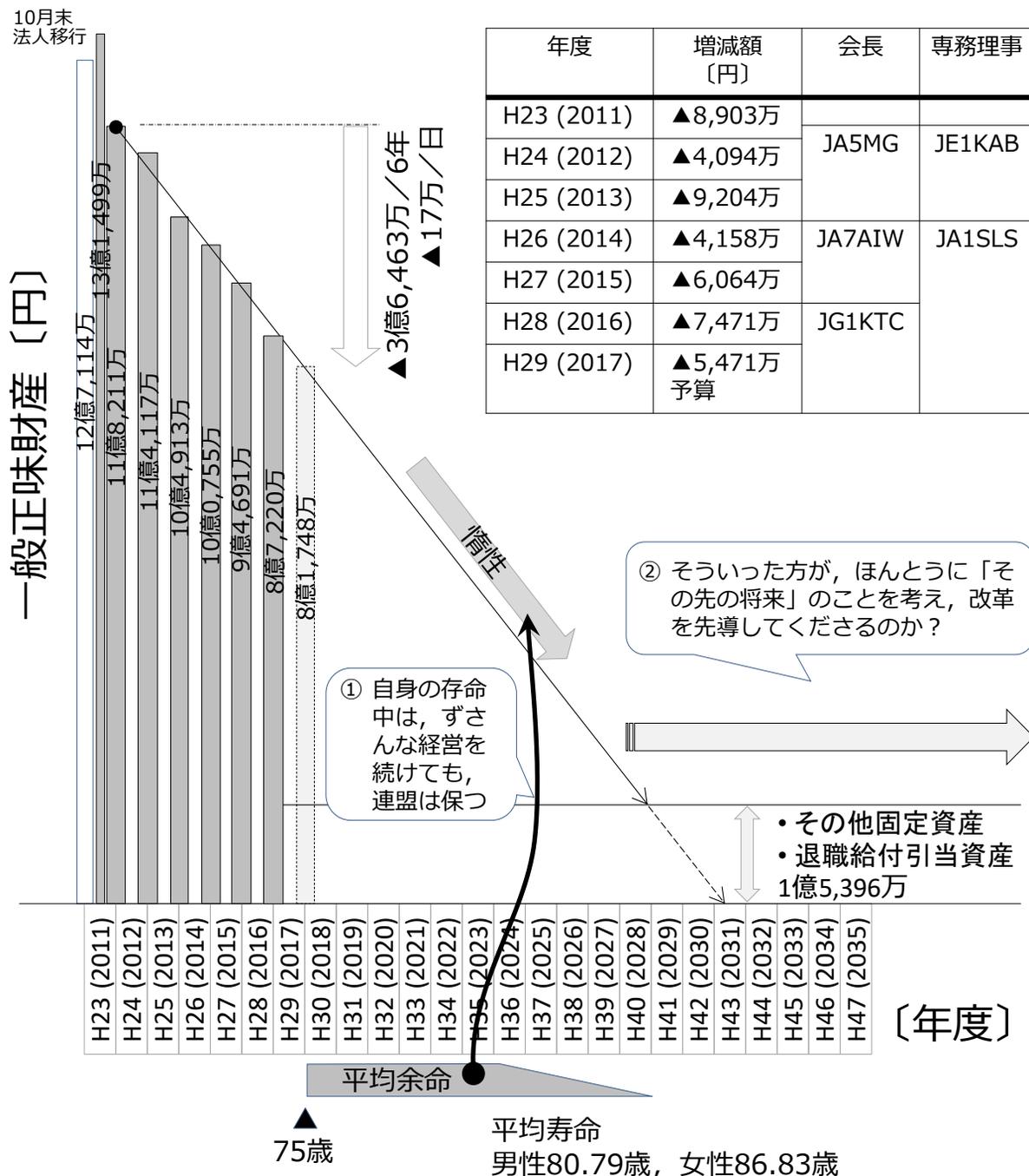
	有資格者・正員の確保	代表者・連絡者としての適正
現役生	△	△ ・毎年交代が発生（基本、最上級生に）
卒業生	○	× ・現役生にとってのうっとうしさ ・多忙な新生活の中での後輩の面倒見
顧問, または 学校長	× ・連盟会員であることはほとんどなし ・そもそも無資格なのが通常	○ ・半恒久的

N. 事業計画「その他 各種事業の推進・維持」について

【N.1】理事の年齢制限撤廃への懸念

連盟の経営は、いまのままでは十数年で破綻する。
言い換えれば、「10年間は、いまのままでも保つ」。

かかる状況下において、平均余命11年の方々を理事にお迎えしたとして、はたして「自身のサイレント・キー後のこと」まで真に考慮し、経営改革に邁進していただけるのか？



【N.2】WG検討内容の開示と意見の募集

『理事重任並びに年齢制限検討ワーキンググループ』では、当該『覚書』を定めた旧『定款・規則等改正審議委員会』と同様に、以下をすべきではないか？

- 検討内容の開示
 - 会員からの意見や提案の受け付け
 - その結果の公表
-

【N.3】正員「以外」の、各種委員会委員への登用

現在の連盟の規定では、家族会員は(本)委員会の委員として就任できない〔委員会の設置及び運用に関する規定 5条5〕。

(配下の「分科会」であれば可.)

今後、会員の持てる力を分け隔てなく結集し活かすために、この規定を撤廃してはどうか？

例：

- 「親御さんが正員で、自身は家族会員」という、“若い世代”の力
 - 「ご主人が正員で、自身が家族会員」という、“女性”の力
-

【N.4】過去の社員総会での提起事項 [意見]

これまで、準備書面の提出者・当日の発言者から、さまざまな提案があった。しかしながら、特段、連盟の運営に意見が反映されたとは思えない。むしろ反対に、社員に対して「会員を集めてこい」と発破をかけて終わっている印象だけが残っている。

とくに会長は常々“会員ファースト”と述べているが、かくなる状況では“理事会ファースト”
“(変わろうとしない)事務局ファースト”
ではないか。

なお、たとえ「定款」の改正であったとしても、その発議に必要な準備期間（リードタイム）は、たった「理事会1回」ですむことは、昨H28年度の第3号議案（名誉会長職の設定）で証明されている。

以降の表に過去の準備書面で見出された意見をまとめる。

凡例

- 左欄…分類
- 右欄…内容
- []…提案者のサフィックス、および、提案年の西暦下二桁
- 《》…その後の状況変化

財政		
大枠	<ul style="list-style-type: none"> • 財産が減少、運営に心せよ[OEP15] • 今後の展望（破綻しかねず）[LFV15] • 将来性・存在意義[CTE16] • 私物化・利権化しない運営[CTE16] • 資料中の作表法：前年度「実績」と今年度予算との対比で[GXU14] • 黒字化（H28年度予算でも7,969万円の赤字） [AAA16・BCE16・JOK16・MYB16・QZN16・WTL16] • 経営専門委員会（CEO）・中期計画検討委員会の設置[QZN16・VQA16] 	
地方本部・支部	<ul style="list-style-type: none"> • 「地方本部」の予算報告を[RTS15] • 地方本部費・支部費の管理の適正化（赤字解消への寄与）[FVX16] • 地方本部間の格差是正；会員一人あたりでみた支部費の格差～適正な格差範囲[LWP12・WTL15] 	
会費	全般	<ul style="list-style-type: none"> • 青少年会費：助成金ではなく、会費メニュー化 [BFA12・FFN16・WTL15・WTL16] • 社団局の高い会費（個人局との二重取り／登録クラブは日々貢献大）[CTE16・DSN16・HHN16・PFW15・PFW16・WTL15] • 増額（∵QSL発送費増・消費増税）[HGY15] • 減額（∵会員数増ねらい）[CTE16]
	割引	<ul style="list-style-type: none"> • 障害者[OEP12] • 家族[DOR14] • 長期（「5年」メニューの新設～会員繋ぎ留め）[WTL16] • 支部直轄の社団局[WTL16]
支出「増」関連	<ul style="list-style-type: none"> • 職員のベースアップ（前回の消費増税で実質減給）[WTL15] • ガイダンス局の設備更新（新スプリアス対応・F7W対応）[OEP16・WTL16] 	
支出「減」関連	<ul style="list-style-type: none"> • 『クロネコメール便』廃止を埋め合わせる支出削減策[HCL16・LFV16・WTL16] • 『補助局』の廃止[WTL15] • 『局名録』付録の再免許用紙の廃止[WTL16] • JARL Webでの、支部行事の支部Webへの単純リンク化（事務局の負荷軽減～費用削減）[WTL15] 	

組織運営	
勧誘施策	<ul style="list-style-type: none"> アマチュア無線への勧誘策の見直し、毎年同じことの繰り返し～抜本的・有効な対策^[PTK12・BFA13・WTL16] 地方広域ハムフェアの、さらなる活性化・開催地の拡大《「東北」予定》^[FFN16] カムバック組・青少年の招き入れ^[STY14] 期待する^[OEP14]
広報案	<ul style="list-style-type: none"> イベントでの講演^[DSN15] 『JARL NEWS』余剰バックナンバーのPR配布^[DSN15] Webでの紹介（NHKマサカメTVでARISSスクールコンタクトの放映、防災関連活動）^[DSN15]
青少年育成	<ul style="list-style-type: none"> 連盟開設局による青少年啓発^[BTS16・WTL16] 次世代育成施策・予算付与^[HCL16] 少年雑誌への広告^[FFN16]
会員管理	<ul style="list-style-type: none"> 正員管理（例：2年に1回ほど総務省のデータで確認を）^[BCE15・WTL16]
規定整備	<ul style="list-style-type: none"> 「理事会決議」の「規定類」への織り込み（転送規定にはない、ARISSスクールコンタクトのQSLカード無償転送）^[WTL15] 『電波法関係審査基準』のアマチュア無線関連部分の配布^[WTL16]
組織そのもの	<ul style="list-style-type: none"> JARDへの統合^[WTL16]
支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会：意見交換を、決算・予算の報告を^[HHN16] エリア支部への移行：現在の支部体制になった1973(S48)年と会員規模が類似（1974(S49)年が5.8万会員）／支部長立候補なし8支部／宮崎は支部長空席1年以上／空知留萌は全国唯一Webなし《2017年5月開設》／予算・活動を縮小の支部も^[ARW15・ARW16・WFM13・WTL15] あるべき姿（財政健全化とは分離した議論の上で）^[OJO16]
監査指導委員会	<ul style="list-style-type: none"> あり方:全国共通の監査指導（監査指導業務は定款上も定めあり）／該検討のその後^[KF16・BFA13・BFA16]
非常通信	<ul style="list-style-type: none"> 非常通信周波数3535kHzのはみ出し^[OEP16] 非常通信周波数28.20MHzのJARLビーコンとのかち合い^[OEP16]
定款13条付議	<ul style="list-style-type: none"> TSS（Web乗っ取り）のJA1TZK除名^[WTL15]

選挙制度	
全般	<ul style="list-style-type: none"> • 現選挙制度に対する認識／それを検討する専門委員会の要否[HBf16] • 理事の年齢制限・当選回数制限の撤廃[ARW15・ARW16・EFR16・FVX15・FVX16・PFW15・PFW16] • 周知：Webのトピックスでも「選挙の告示」と[HBf16]
社員	<ul style="list-style-type: none"> • 投票率の低さ～向上策[PTK12・WFM13・WTL15] • 『選挙公報』の内容のなさ／「所信」のWeb掲載～それに対する警告文[DBD16・OEP12・WTL15] • 投票／無投票での、当選者の個人情報開示の格差 <ul style="list-style-type: none"> ○投票のエリア…インターネット上に暴かれ ○無投票のエリア…なにもなし[WTL15] • 定数配分：「融通した先のエリア」で枠未達～ならば枠を関東に戻せ[WTL15] • 「支部ごと選出」の目的：支部長と社員とでは「ふさわしさ」は相違[WFM13]

社員総会	
準備書面	<ul style="list-style-type: none"> • 『準備書面』さばき：事前に書面で質問～事前に書面で回答に[HBf16] • まずい引用の制限～事務局による削除許可／提出者による個人情報の記述の回避／ひな形化[OEP16]
傍聴者	<ul style="list-style-type: none"> • 傍聴者の資料閲覧時の電子化[DBQ13]
インターネット中継	<ul style="list-style-type: none"> • インターネット中継[RTS16・WTL16]

参与	
選任	<ul style="list-style-type: none"> • 高齢すぎ～順繰りな入れ替え（次世代の育成）を[WTL15] • 「経営」に強い方を[WTL15]

理事		
選任	否決	<ul style="list-style-type: none"> 多くの会員が選んだ候補を，少数の社員が否決 [DBQ13・FVX14・HIC15・STY13・WFM13] 再発防止 [GXU13・VQA13(締切後着)・VQA14] 見直し検討の有無・内容・目標時期 [BCE14] 理事は選挙で即選任に（推薦理事・推薦監事は社員総会の決議） [HIC12]
	投票法	<ul style="list-style-type: none"> 議決の方法の明確化（一括／個々） [GXU12・HIC15・HIC16・WFM12] （過半の賛成による）一括選任の優先 [GXU14・WFM14] グループ分け：(1)投票で当選・(2)無投票当選・(3)理事会推薦 [GXU12] 記名投票化（写真撮影） [GXU14・WFM14]
	条件	<ul style="list-style-type: none"> 学歴・経歴の提示が必要な理由 [GXU12] 役員の資格等の，選挙管理委員会・理事会による確認（一般社団・般財団法人法65条）／「反社会勢力と無関係」の旨の確認／利益相反関係の呈示（とくにJARDとの兼任者） [GXU14]
	時期	<ul style="list-style-type: none"> 退任前の社員が次期の理事を選任：「新社員が新理事を選任」に [DBQ13] 旧理事会の予算で新理事会が執行：地方本部理事2期連続，理事は2年ごと半数改選 などを [GXU14]
推薦理事・監事		<ul style="list-style-type: none"> 選考過程（基準）～期待 [AAA16・WFM14]
ただし書き地方本部長		<ul style="list-style-type: none"> 理事会への出席（地方本部・支部運営に支障） [ARW16]
スキル		<ul style="list-style-type: none"> 一アマの取得：記念局運用時の自由度 [OEP16]

会員サービス		
そもそも論	<ul style="list-style-type: none"> 「会員メリット」を考えよ[JOK16・VQA15] 会員数維持のための施策（赤字によるサービス低下の危惧）[JOK16] 	
具体施策	<ul style="list-style-type: none"> 再免許手続き支援（無料で）[HIC16] 資格取得後の（知識の）フォローアップ[OEP16] 週末の連盟の窓口対応（会員増強施策としても；月1回でも）[BTS16・LWP12・WTL16] 養成課程講習会へのJARL再参入[PFW16] 	
登録クラブ	<ul style="list-style-type: none"> クラブ規程との齟齬：連盟の周知事項が優先して受けられていない[RTS15・WTL15] 	
QSL	<ul style="list-style-type: none"> 電子化（照合機能の実装，アワード発行とのリンク）[AAA16・HCL16・KCW16・QHQ16・RTS14・WTL16] スキャンによる保存の許容[WTL15] 	
アワード	<ul style="list-style-type: none"> 新アワードによる活性化（既存アワードの“上がり組”対策）[KCW16] 	
コンテスト	<ul style="list-style-type: none"> D-STAR以外のデジタルモードの追加[KCW16] 	
ARISSスクールコンタクト	<ul style="list-style-type: none"> QSLカード無償転送の廃止～別な形での支援：(1)「発送のみ無料」に青少年育成の意味希薄，(2)実態が“PTAがパイルアップを楽しむ場”化，(3)転送規定になし[WTL15] 	
衛星	<ul style="list-style-type: none"> 宇宙通信の促進：『ふじ3号』後継機の打ち上げ（小規模・安価の）[OEP15] 	
Web活用	全般	<ul style="list-style-type: none"> 改善：わかりやすく・迅速に（コンテスト結果を『トピックス』側でも告知）[JNA16] 非常通信発生などの通達：Web更新の即応性の確保[OEP16・WTL16] jarl.com割当容量増（現状5MB）[WTL15] 支部などによる外部サイト利用の巻き取り：(1)セキュリティ面・(2)情報の散逸防止・(3)支部役員交代時の継承性[WTL15]
	掲載希望コンテンツ	<ul style="list-style-type: none"> 検索窓[JNA16] 歴代コンテスト結果[AXB16] ARDF大会などの結果[JNA16] 電波障害対策（リンク集）[DSN16] デジタルモードの諸元[JNA16] 新スプリアス規格移行情報[JNA16] JARLのロゴデータ[VQA15] 会員数[JNA16]

監査指導	
法令上問題	<ul style="list-style-type: none"> • 行政処分者の頻出の解消[OEP16] • “3553kHz音楽放送局”対策[OEP16・WTL16] • テレビ・映画などでのアマチュア無線機の問題がある使い方の解消 [OEP16] • 局免切れ対策（『無線局等情報検索』で確認できない『QSOパーティー』への参加者）[WTL16]
その他	<ul style="list-style-type: none"> • 非常通信時の、連盟主導での周波数の確保（「非常通信周波数を知らない局」対策）[AAA16] • 運用マナーの立て直し[PFW16・WTL16] • コンテストでのTwitterなどの利用の禁止化[WTL16] • “スパムQSL”対策[QHQ16・WTL15] • 上級資格取得の奨励：自覚の植え付け[OEP15]

局運営	
記念局	<ul style="list-style-type: none"> • 根本見直し：規定からの乖離（「内輪の行事」が大半と化した特別記念局）／区分のわかりにくさ・無意味さ／総通への直接申請が可[QHQ16・WTL15・WTL16] • 申請の締切踏み倒しの常套化[WTL15] • 免許機材の嫌疑[OEP16・WTL15・WTL16]
IARU HF Championship	<ul style="list-style-type: none"> • HQ局の建て付け：「現地社団局のコールの変更」で手順簡素化[WTL15]
オリンピック	<ul style="list-style-type: none"> • オリンピック記念局（対DX）[DND16・VQA14] • 記念局の設置場所の早期確保（選手村・競技場）[OEP16]
レピータ局	<ul style="list-style-type: none"> • C4FMレピータ[WTL16] • 管理団体の構成員の確認（例：再免許時に提出義務づけ）[BCE15]
ガイダンス局	<ul style="list-style-type: none"> • 担当者名簿の整備／定期メンテナンス／メッセージの見直し／運用者の保護（保険・資格証明書など）[KF16]

対 総務省	
規制緩和	<ul style="list-style-type: none"> • 包括指定／免許手続きの簡素化[ARW15・ARW16・BFA16・OPC13・VQA16・WTL16] • 「移動する局／しない局」の一本化[OEP12・WTL16] • 移動局の増力[WTL16] • レピータの免許人（現状は連盟のみ）[WTL15] • 補助中継回線：現状は、(1) 29MHzレピータの送受点間リンク・(2) D-STARのアシスト局間のみ[WTL15] • デジタルモードの手続き簡略化：技適を外れ、結果全バンド・全モードを記述[WTL15]
バンド拡大・新バンド	<ul style="list-style-type: none"> • 160m・80m帯の拡大[DND16・OEP12・VQA15] • 5MHz帯の獲得[WTL16] • ハーモナイゼーション／JT65対応のためのバンド拡張・使用区分修正[DND12・WTL16]
新制度	<ul style="list-style-type: none"> • 『電波利用料』の連盟での利用（ガイダンス局の整備などに）[WTL16] • バニティコール[WFM14・DSN16] • 一アマの養成課程講習会[OEP12]
オリンピック	<ul style="list-style-type: none"> • 訪日客の短期運用[DND16] • 記念局の、レシプロ対象国外への運用者の拡大[OEP16]

対 その他	
対 経産省	<ul style="list-style-type: none"> • イミュニティ規格・エミッション規格[HIC16]
対 メーカー	<ul style="list-style-type: none"> • 安価なリグ：青少年用に[LKC16]
対 養成課程講習会実施機関	<ul style="list-style-type: none"> • 時間・内容・費用の見直し：質の低下対策（コールサインを言わない、「電波利用料を返せ」とすら）[PFW16]
対 PTA	<ul style="list-style-type: none"> • 「受験勉強への影響の危惧」の払拭[LKC16]

一応の解決／一過性 (1/6) 経営 (1/2)		
組織・定款	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画・収支予算の扱い（「報告」になっている）[PTK12・MYB16] 	
財政	<ul style="list-style-type: none"> ・赤字の理由～解消の方策[GXU12・VQA14] ・「H26に収支バランス」の見通し、結果赤字[DND12・GXU12・VQA12・VQA14] ・収支予算（H24）が削減できた理由・削減に伴う問題発生の可能性[EJH12] ・「会員減の中での経費増」の理由（H25）、H26予算への反映[GXU14] ・事業推進上の問題点・対策案の次年度（H25）提示[EJH12] ・経費削減の取り組み・成果の次年度（H25）報告[EJH12] 	
報告様式	<ul style="list-style-type: none"> ・『公益目的支出計画実施報告書』の累計化[GXU14] ・「財政改善への取り組み」の無記載（H26事業計画）[OEP14] ・「監査の意見」の無記載[OPC13] ・『会館建設積立資産』の資料のページ間の差[VQA12] ・「会費助成」の帳簿上の扱い（正規の会費で計上？）[BFA12] ・H23法人移行後の計算書の呈示[GQT12] 	
資産	<ul style="list-style-type: none"> ・正味財産の減額：H23年度比で▲1.3億円；取り崩しに対する考え[EJH12・GXU12] ・基金からの取り崩しの大幅増の理由[LFV13・RTS13] ・『公益目的財産残額』12.0億円の支出期間～0になる年度[EJH12] ・『会館建設積立資産』の取り崩しの決定経緯～会員への周知[BFA16] ・『会館建設積立資産』の増減額[BFA13・BFA16] ・『会館建設積立資産』の扱い[BFA13] ・『衛星積立資産』の減額理由[BFA16] ・『退職金給付引当資産』の減額理由[BFA16] ・『建物』の1円[BFA13・BFA16] ・特定資産の有価証券（運用損益）[OJO16] ・特定資産運用益（資産運用法，0.475%？）[BFA13] ・有価証券の有無・銘柄[ACV13] ・『貸倒引当金』の積算内容[ACV13] ・茅野の土地《売却》[ACV13・ACV15・BFA16・OPC13・WTL15] ・「未払金」「未払い消費税等」の削減を[OEP15] ・『(公財)日本無線協会』にあてた出捐金の回収[WTL16] 	
会計	<ul style="list-style-type: none"> ・刊行物収益の急増理由，刊行物事業の強化[LFV14] ・特定資産の取り崩しの上期下期での差[VQA12] ・「未払金」「未払い消費税等」の削減を[OEP15] 	
支出	全般	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトウェア費の増（¥70M）の内訳[GXU14] ・修繕費（¥5M）・雑費（¥14M）[OPC14] ・管理費雑費の増（¥8M，H25）[GXU14] ・広報活動費の増加理由（H26比でみたH27）[DOR16] ・固定資産である機械装置・備品・ソフトウェアの増，必要性和効果・入札調達の有無[OPC14] ・ARDFコスト削減（#44岐阜総会決議の実施状況）[DND12] ・諸給与650万円/名[EPO16] ・退職金給付費用の意味合い[EPO16] ・退職給付の引当金不足（5500万円）[QZN16] ・福利厚生費130万円/名[EPO16] ・ARRL100周年への派遣（3名）手続き～費用負担～JARL90周年時の対応[AGU15] ・理事地位不存在確認の費用[ARW15] ・事務所移転を急いだ理由・費用[FVX14] ・事務所移転時の什器新調の必要性[DSN14・FVX14] ・ハムファアのアンテナ工事費[HGY15・RTS15] ・会長交代に関わる費用[LFV14]
	QSL	<ul style="list-style-type: none"> ・業務契約の一般競争入札化[AAA16] ・従量課金化[HHN16] ・QSL転送費用の増[DOR15・WTL15]

一応の解決／一過性 (2/6) 経営 (2/2)		
地方本部費	<ul style="list-style-type: none"> 適否・あり方・予算配分の考え方：内訳／繰越額の扱い（含み資産化?）／地方本部ごとの繰越額の差違^[FVX16・MYB16・OJO16] 地方本部予算の増額理由（H27→H28で50万円）^[FVX16] 	
支部費	<ul style="list-style-type: none"> 繰越金の収入への非算入^[FVX16] 大阪府支部の会費キャッシュバックキャンペーン～従来会員の不公平感問題～効果あれば全国拡大の可能性^[DOR16] 	
費目の扱い	<ul style="list-style-type: none"> 事業活動支出の3項目と、組織（3部制）との不一致に伴う、正確性への疑念^[BFA12] 積立金（会館建設・衛星）の今後、費目^[OJO16・WTL16] 『雑収益』が過大（¥40M）、受取利息の元（0.065%）^[BFA13] KANHAMへの補助金が『会員増強企画』扱いに^[JRY16・QH16] 『会員増強企画』の実施途中での方向転換（大規模イベントも対象となり、競合激化）／別枠の補助金の有無^[FFN16・JRY16] 	
会員増強	<ul style="list-style-type: none"> 会員増強キャンペーンの結果（200万円（153万円）のコストパフォーマンスレシオ）／対象12イベントの選定根拠／今後^[AAA16・ARW16・BFA16・DOR16・FFN16・JRY16・MYB16・QH16・VQA16・WTL16] 会員減少食い止め対策《種々の優遇策》^[LFV15] 実施体制～支部の負担大（連盟事務局側が見切り発車状態）^[FFN16] 「4,000名増」は、実質「1,000名増」？^[WTL15] 「退会者の引き留め」の必要性^[WTL15] 「QSLが多く届いているライフメンバー」のQSL転送サービスへの勧誘^[AXB16] 減少に際し、うった対策・今後の対策 	
青少年のための会費助成	<ul style="list-style-type: none"> 大学生・大学院生への拡大を《大学生にまで拡大》^[OEP16] 学生会員《「お試し入会」など制度化》^[FFN16] 	
会費前納 会員	扱い全般	<ul style="list-style-type: none"> 権利剥奪の目的・責任・訴訟対策^[GXU13] 定款改正の要否：前納会員のJARL NEWSを有料化^[LFV13] 扱いの再提案理由（#52通常総会で否決）^[LFV13] 「前納会員以外の正員」についても、「基本・カード転送・JARL NEWS」に分離を／その場合の金額^[BCE13・GXU14・LFV13・RTS13] カード転送有料化の先送り（『会館基金』の活用で）^[RTS13] 財政改善での前納制度復活の可能性^[BQV13]
	QSLカード転送有料化	<ul style="list-style-type: none"> カード転送有料化の前に行った経費削減努力・努力すべき^[DBQ13・RTS13] 『ライフメンバー転送手数料』の試算（3600円の根拠）・検討経緯・根拠／高齢で発送少～移動運用サービサー・コンテストのほうが多い／ライフメンバーだけでなく「全体での負担増」策の可否／前納の可否^[BQV13・DBQ13・LFV13・WFM13]
	波及	<ul style="list-style-type: none"> 「ライフメンバー会費期間延長キャンペーンによる事務局負荷～人員増」の危険性^[DSN14] JARL NEWS・QSLカード転送以外での、変更の有無^[ACV13]
	ケア	<ul style="list-style-type: none"> 「意向・希望調査」の非実施の理由^[K113] 過去の増強運動の際の仲介人への配慮不足^[K113] 「7200円の一般会員に移行した前納会員」のケアが必要～一般会員と同額の負担の制度に：カード転送3600円＋JARL NEWS600円×4だと6000円で、安い^[VQA13(締切後編)・VQA14・WFM13]
	事務面	<ul style="list-style-type: none"> ライフメンバーの会員証・予算・デザイン《発行》^[KBQV13] Web版JARL NEWSでの券面配布の扱い（アンテナ保険・ハムフェア割引）^[KRTS13]

一応の解決／一過性	(3/6)	組織運営
会長見解		<ul style="list-style-type: none"> 運営ビジョン／具体的にイメージする，存在感のあるアマチュア無線／なにか「薄らいでいる」のか[ACV15・OJO16] 中国地方新本部長任命～監査長を交代させられず残留～支部長あて「嚴重注意文書」《最高裁でも判決変わらず；2015年6月監査長辞任》[WWK15]
組織運営		<ul style="list-style-type: none"> 規定類集の作成承認経緯[HIC12] 『名誉会長』職の制度運用《定款改正否決》[AAA16・BFA16・DOR16・HCL16・LFV16・VQA16・WTL16] 名誉会員：在任中なので翌年（H25）で／基準《推挙》[DBQ12・GXU12・RTS12] JARL開設メンバーリスト（支部長メンバーリスト）の用途[NMT14] 「監査長公印」の有無・返還[WWK15]
委員会		<ul style="list-style-type: none"> 委員会議事録のWeb掲載[RTS16] 『財政問題検討WG』の報告，指示事項[DND12・RTS12・VQA12] 「アマチュア無線活動の推進・周知・啓発」の活動縮小[RTS12]
非常通信		<ul style="list-style-type: none"> 非常通信（熊本対応・東日本総括）[VQA16] 非常通信体制整備：法52条4号（非常通信）？／法72-2条（総務大臣による措置）？[ACV15] 目指すところ（扱いがぞんざい）[BFA12]
クリーン化		<ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電・LED照明などからの漏洩雑音対応（前年度の実績・当年度の計画になし）[GXU13] モニター方法と報告先の総務省部局（28MHz・50MHzでの南シナ海漁船）[RTS12] 地デジ完全移行時期の誤記：東北3県は2012年3月[OEP14]
事務局		<ul style="list-style-type: none"> 『事務局嘱託規定』の高年齢者の本給70%以上の，減額[EJH12] 『事務局職員旅費取り扱内規』の『支度料』の，対象の絞り込み[EJH12] 海外出張時のリスク回避コストの法人負担[EJH12] 定年（65歳）からの延長2回の理由[GXU13] 勤務時間[EPO16] 給与削減[GXU14]
選挙管理		<ul style="list-style-type: none"> 個人名・立候補種別の漏洩[DSN14] 選挙用紙の封筒のバーコードの機能の説明（誰が誰に投票したか判る？）[DSN16] 支部内会員のEメールアドレスの，社員選挙運動時の流用（現職有利）？[WTL15] 選挙違反（H23）の内容・裁定・公表法・理事の関与[DBQ12]

一応の解決／一過性 (4/6) 理事・社員	
理事	<p>全般</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 理事候補者の社員総会で否決～落選者が地方本部長に就任～要求書（解任・説明責任を果たす）に無回答^[GQT15] ・ 選任決議の目的・根拠^[WFM12] ・ 判断基準の提示^[EJH12] ・ 手続き：新体制後の理事会で決めるべき^[DND12] ・ 選任否決の場合扱い（繰り上げ・補充の手続き）《「ただし書き地方本部長に」^[HIC12・WFM12] ・ 活動実績の提示^[EJH12] ・ 理事もオンエアを^[HHN16] ・ 局免切れ4786名への投票用紙の配布の可能性・責任・対策（社員選挙も同様）《結審》^[DBQ13・GXU13・WFM13] ・ 「正常化のために解囃された者」が選挙で当選～正常な運営をどう担保^[NMT14]
	<p>推薦理事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 推薦理由・本人意向・資格の明示^[DND12・EJH12] ・ 根拠／必要性／枠数^[DND12・WFM12]
	<p>繰り上げ補充 (JG3CCD) 《選任否決》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 改名／理事地位不存在確認の裁判の原告団であったこと／ブログの内容^[QZN15] ・ 理事会でのやりとりの確認（「理事就任に反対の意見があった」旨）^[DOR15] ・ 各理事の、当該候補者についての理解度合い／次点繰り上げ時の慎重判断（低惜敗率）^[DOR15]
	<p>意思確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 『会員増強組織強化委員会』に属する委員（投票行動の参考のため、とくに社団会費の値下げ）^[PFW16] ・ 理事候補者に「不適格者がいる」と思うか：個別選任とはそういうこと^[GXU14] ・ 「前納会員カード転送有料化理事全員賛成」の確認^[WFM13] ・ 支部存続／廃止の二択回答^[KCW12] ・ 社員総会での候補者のオブザーバ出席を^[KCW12]
専務理事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 役員報酬実績（直近5年）^[DND12] ・ 給与の適否：「余人をもって代えがたい」はずが交代^[GXU14] ・ 報酬：上限¥10Mの根拠～再考；参考例の選定理由・調査年度^[BFA12・DBQ12・EJH12・GXU12] ・ 報酬：上限¥10Mからの会長による“勘案”範囲^[GXU12] ・ 報酬：実際の支払額・成果^[DBQ13] ・ 報酬報告・活動報告・翌年の扱い^[GXU13]
ただし書き地方本部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理事との差違（役員人事など、とくに地方本部間の扱いの差），解囃の規定・推薦各支部長への事前確認^[KI13・WWK13]
社員	<p>総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ #1社員総会前の怪文書（ハガキ）^[OEP16] ・ 会場（ホテル）／時間帯（午後から）^[DBQ12] ・ 日程：All Asia Contestとの競合^[WFM13] ・ 傍聴：理事でない地方本部長・社員でない支部長^[WWK13] ・ 議長選任の理由：前年の議長は不適任^[GXU14・WFM14] ・ 昨年と同じ議長団・議決法ならば，社員総会として不成立^[GXU14] ・ 「保留」票の扱い^[WFM14] ・ 提起事項の，理事会でのその後のフォローが不明^[DSN14] ・ 終了予定時間超過時の損害請求者の確認^[DOR14]
	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設立時社員の定款への署名／記名捺印（実施した記憶がない）の手続き^[BFA12] ・ 指導処分の方策・判断（対 支部長）^[WFM13] ・ 地方本部・支部での役員としての就任^[BFA13] ・ 規定類集のA4サイズ化（いまB5）・電子ファイル配布化^[GQT14]

一応の解決／一過性 (5/6)		会員サービス
局運営	レピータ局	<ul style="list-style-type: none"> ヤエスDR-1Xのアナログレピータ局としての国内導入の推進《DR-1XJ発表》^[WTL16]
	衛星	<ul style="list-style-type: none"> 大学の衛星などの支援数・内容^[ACV13]
	記念局	<ul style="list-style-type: none"> コールサイン「8J1BOSAI」の異なる行事での使用^[WTL16] 「鹿島神宮式年大祭御船祭」特別局の開設中止理由／JARL・総通のダブルスタンダード／中止の周知^[WTL15]
	ピーコン局	<ul style="list-style-type: none"> 保守実態：位置づけ・費目・委託先・復旧予定（JA2IGY VU帯）^[HVO12]
	東日本大震災	<ul style="list-style-type: none"> ハンディ機の行方^[DND12]
会員サービス	JARL NEWS	<ul style="list-style-type: none"> JARL NEWSの「オンライン化で発行部数減～値上げ」の可能性、価格の根拠、見直し^[BQV13] セキュリティインシデント：JARL NEWSが非会員でも閲覧できる状態で、とくに局名録の正誤表が露呈^[WTL15]
	QSL	<ul style="list-style-type: none"> 短期海外運用時の転送手数料^[WTL16]
	Web	<ul style="list-style-type: none"> JARL Webの携帯サイト《廃止》^[AXB16] ライフメンバーの追加費用免除期間中にもかかわらず「会員だがQSL転送不可」と表示される^[DSN14] 情報発信の力点の見直し：総務省の摘発発表のオウム返しよりは、独自の情報を^[WTL15]
	新メニュー	<ul style="list-style-type: none"> スペイン測定（無料サービス）《JARLがメニュー化（ただし有料）》^[HIC16] LPFの安価頒布^[HIC16]
コンテスト		<ul style="list-style-type: none"> ログ提出で「ワープソフトあり・通信環境なし」の場合の扱い^[RIL14] QSOパーティーの電子ログ受付・ビューローでのステッカー配布^[RIL14] 『IARU HF Championship』での、4波交信達成証とWeb掲載の廃止^[WTL15] D-STARコンテストの検討状況《6m AND DOWNにD-STAR部門》^[RTS14]
行事運営	ハムフェア	<ul style="list-style-type: none"> 出展者説明会の週末開催^[RTS16]
	JARL 90周年	<ul style="list-style-type: none"> フライング^[BCE15・DSN15・GQT15・OEP15・RTS15・RTS16・WTL15]
	IARU 90周年	<ul style="list-style-type: none"> IARUの90周年対応（一連開設された記念局に日本は不参加）^[HBF16・KCW16・WTL16]
	IARU HF Championship	<ul style="list-style-type: none"> 末期的運営：告知の遅れ、「80m Phoneの運用なし」など^[WTL16] 2015年にむけては？^[WTL16]
会員		<ul style="list-style-type: none"> ヤマト運輸への執拗なクレーム：QSLは信書（QSLの取り扱い拒否～¥20Mの負担増に）《ヤマト利用停止～『メール便』自体も廃止》^[DOR15・HGY15・RTS15・WTL15] クレーマー（モンスターペアレント）対応《退会》^[WTL16] アワード捏造申請発覚～JARL発行アワードの再審査^[WTL16]
指導		<ul style="list-style-type: none"> 『非常通信』と『非常通信業務』の混同解消：非常時でも無資格運用は不可・非常通信を目的としたアマチュア局の開設は不可^[OEP12]

一応の解決／一過性 (6/6) 外部環境	
対 総務省	<ul style="list-style-type: none"> ・ スプリアス規格移行の円滑化・明確化・特例化《制度整備》 [KF16・ARW15・BFA16・GQT14・HIC16・OHZ16] ・ CEPT諸国との相互運用協定《締結, ただしT/R 61-02 (長期滞在) 相当》 [WTL16] ・ ニアマの養成課程講習会《制度整備》 [OEP12・OEP14] ・ 475kHz帯状況《分配》 [ACV13] ・ 1200MHz帯の維持《「レピータの減力」など押し切られ》 [DSN16] ・ パブコメ対応なし (H23・H24 エラーニング) [OEP12] ・ パブコメの具体的内容: PLCに「強く反対する」とは? [GXU13] ・ 屋外PLCへの対応 [GXU14] ・ コールサイン誤指定見過ごし: レピータ局「JQ6YAA」は本来は「JQ6YBA」 [WTL15]
養成課程講習会	<ul style="list-style-type: none"> ・ パブコメに「開催実態の告発」的内容～伝統的にもさまざまな嫌疑 [WTL15]
保証認定制度	<ul style="list-style-type: none"> ・ JARDの再登板理由 [WTL15]
ドローン	<ul style="list-style-type: none"> ・ ドローンの運用法～個人局と社団局との同一人の同時操作 [WTL16]
クリーン化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 太陽光発電パネルからのノイズ: 監督官庁への申し入れ [GXU14] ・ LED照明の雑音レベルの実測 [GXU14] ・ 総通・『電波適正利用特別推進員』の活動支援: 適切な80条報告のアピール [OEP12] ・ 『電波適正利用推進員』『電波適正利用特別推進員』の誤記 [OEP16・WTL16]
対 自治体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「災害協定」の締結数・啓発対象 [BFA16] ・ 非常通信に関するJARLからのアクション [OEP13] ・ 目黒区役所のWebの誤解を招く表現 (会長名で「アマチュア無線」の文言の削除要請) への考え; トラブル発生局の把握 (http://www.city.meguro.tokyo.jp/smph/gyosei/keikaku/torikumi/sumai/antenna.html) [OEP12]
対 TSS	<ul style="list-style-type: none"> ・ 訴訟を受けた内容, 弁護士費用など [DSN14・FVX14・VQA14] ・ Webの今後の見通し, 旧Webの残置 [OEP14・OCP14] ・ 移行とスパムメール増との関連, スパムメール対策 [FVX14・OCP14] ・ 障害についての見解, 対応費用 [DSN14・FVX14] ・ 理事による裁判中の情報流布と, 当該理事への指導内容 [DOR14] ・ アグレックスへの切り替えの際の手続き, 費用 [DSN14・FVX14・STY14・VQA14]

数値の開示	
金額	<ul style="list-style-type: none"> ・ 赤字総額 (新法人移行後) [MYB16] ・ 赤字額 (H23) [GXU12] ・ H28決算予想 [MYB16] ・ 会員増強キャンペーン結果 (「200万円かけて66名の増」との分析もあり) [BCE16・DOR16・JOK16・MYB16] ・ 消費増税の影響 [WTL15] ・ 『雑収入』の内訳: 膨らんでいる [BFA16] ・ TSS・アグレックスへの支払額 [DOR14・DOR15・DOR16・VQA14] ・ 会費中のQSL転送費の割合, 転送費の内訳 [WFM13] ・ 職員の平均給与 [DBQ12]
件数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会費助成の件数 [BFA12] ・ 賛助会員の口数の分布 [ACV13]
人数	<ul style="list-style-type: none"> ・ ライフメンバー移行状況, 目標比 [ACV15・LFV14・VQA14] ・ QSLカードの発送状況・発送法 [HCL16] ・ QSL転送の実利用者数, うち前納会員数 [WFM13] ・ QSL転送を(有料で) 利用する前納会員の見込み, 目標達成率 [DSN14・VQA13(締切後着)・WFM13] ・ ライフメンバーの7200円の会員数・正員の7200円の会員数 [RTS14] ・ 制度変更時の退会者数 [LFV14] ・ 脱退者と入会者 (2015年度) [JOK16] ・ ライフメンバー会員数 [JOK16] ・ 18歳未満の入会数 [LFV14] ・ 職員数・賞与引当金の対象人数 [DBQ12]